

ごあいさつ

北海道滝川高等学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

本校は、石狩川と空知川の恵みによる豊かな大地の広がる北空知の中核を担う学校として、昭和4年（1929年）に北海道滝川高等女学校として開校しました。その後、昭和23年に定時制課程設置、昭和25年に高等学校再編により北海道滝川東高等学校と改称され男女共学に、そして昭和29年に現在の北海道滝川高等学校と改称、昭和44年には理数科を設置するなど、社会や時代の変化・要望に応えながら伝統校としての地位を築きあげ、今年度創立94年目となります。卒業生は25,000名にものぼり、地域はもとより全道、全国で有為な人材として広く社会で活躍しています。

令和3年度から年次進行で進んだ普通科の学級減、これに伴い魅力ある教育課程編成、学校づくりを目指して導入した単位制が、完成年度を迎えました。

本校の「育成を目指す資質・能力（スクールポリシー）」は、教育目標である

「高い志をもち、自己を創造し、真理を追求する心と未来を拓く力を育む」

このことを実現させるために

- (1) 言語を活用し、基礎から応用にいたる正しい知識を身につけるとともに、自ら課題を見出し解決する力を育む。（考え抜く力）
- (2) より良い社会の創造を目指し、自らの考えを表現し、他者と協働することのできる力を育む。（協働する力）
- (3) 志を高く持ち、新しいことや難しいことに挑戦し、自己を変容させ、やり抜こうとする力を育む。（生き抜く力）

といたしました。

全日制課程においては、本校の使命としての

「地域の進学校としての期待に応え、将来の社会を担う人材の育成」を目指し、理数科を設置している特徴と、平成25年度より文部科学省より指定を受けたスーパーサイエンスハイスクール事業への取組を普通科にも導入・発展させ、更に一段高みを目指した教育活動と進路希望実現のための指導を充実させています。

しかしながら、急速に変化・発展する社会の中で子どもたちの「学校から社会へ」の円滑な移行を図るためには、保護者や地域の皆様のご支援やご協力が不可欠です。すべての生徒諸君の夢・希望・志を叶えるため全教職員で教育活動に取り組んでまいりますので、より一層のお力添えをお願い申し上げ、ご挨拶にかえさせていただきます。

令和5年4月

北海道滝川高等学校長 古川 栄 一